

令和7年台風22号・23号に対する 東京都社会福祉協議会における支援活動

— 令和8年3月1日現在 —

令和7年10月に発生した台風22号および23号では、都内島嶼部の7町村に災害救助法が適用されました。暴風雨に見舞われた八丈町・青ヶ島村では屋根が飛んだり、外壁が壊れるなどの建物被害が発生し、八丈町の末吉地区では大雨による土石流災害も起きました。また、土砂により多くの水源が被害を受けた八丈島では、広範囲での断水が長く続きました。

被害に遭われた皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。

この災害に対して、本会では、以下の通り取り組みました。



1 八丈町社協への支援・災害ボランティア活動による被災者支援

10月15日、八丈町社会福祉協議会において、災害ボランティアセンターの機能を持つ『八丈島ささえあいセンター「あすなろ」』が開設されました。島民を中心としたささえあい活動を推進し、要配慮者への給水支援などの活動から開始しました。

東社協では、東京都と「東京都災害ボランティアセンター」を設置し、都内区市町村社協の協力の下、八丈町社協への職員派遣を行い、ボランティアのコーディネート業務など『八丈島ささえあいセンター「あすなろ」』の運営支援を実施しました。



10月8日	島嶼ブロックの社協に、早期避難の注意情報および災害時の情報入力依頼を送付。
10月9日	島嶼ブロックの社協に被害状況等の聞き取り。八丈町社協より今後の取組みの相談を受ける。
10月10日	八丈町社協とのオンライン会議を実施（TVAC・地域福祉担当・企画担当・民生児童委員会）
10月14日 ～16日	<p>八丈島に先遣隊を派遣（TVAC職員2名）。CS-tokyo職員1名が同行。 サイボウズ社からも職員派遣があり、災害VC開設に向け、IT関係の支援を受ける。</p> <p><先遣隊の活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 避難所等の視察・島内の被害状況の把握 ● 八丈町社協との災害VC立ち上げに向けた協議 ● 八丈町社協の声掛けで実施された「福祉関係者連絡会」への出席 ● 八丈町役場福祉健康課との意見交換、八丈町災害対策本部会議への出席 ● 東京都（生活文化局都民生活部・総務局総合防災部）とのオンラインによる情報共有 <p style="text-align: right;">他</p>

八丈町社協が『八丈島ささえあいセンター「あすなろ」』を15日に設置。

16日より島内を中心に災害ボランティアの登録を開始。
19日より、給水の受け取りが難しい高齢者宅などへの給水ボランティアの活動を開始。



← 被災当初、町が設置した生活用水(トイレ用等)の受取場所。住民が自分でポリタンク等を持参して給水を行うことが想定されており、センター設置当初は、中心的な活動は“給水ボランティア”の活動であった。(写真:八丈町公式サイトより)

【ボランティアの活動内容】

- 家屋・庭木の片付けや転居の支援
- サロン活動(2次避難所の他、これまで島内各地区の商店や公共施設で順次開催)
- センターからのお知らせやボランティアの声を紹介した情報誌「あすなろ」の配布 など

10月15日～



【写真:サロンの様子】

● 特設サイト <https://www.8jo-saigai.com/>

● Facebook <https://www.facebook.com/8jo.saigai/>



10月15日

東京都およびTVACにおいて「東京都災害ボランティアセンター」を設置。

● 特設サイト <https://saigaivc.tokyo/>



10月17日

八丈町社協への社協職員の応援派遣の実施を決定。区市町村社協への協力依頼を送付。

＜派遣概要＞

- 1クール：区市町村社協2名および東社協1名の計3名体制。
- 第1クールを10/22(水)～10/26(日)とし、以降、水～日曜日を1クールとして、当面11月末までの計6クール。

10月22日
～26日

第1クール：八王子市社協・大島社協・東社協から各1名を派遣。

10月29日
～11月2日

第2クール：福生市社協・三宅島社協・東社協から各1名を派遣。

11月5日
～9日


第3クール：町田市社協・利島村社協・東社協から各1名を派遣。

11月12日 ～16日	第4クール：練馬区社協・神津島村社協・東社協から各1名を派遣。
11月12日	八丈町社協への社協職員の応援派遣を12月も継続して実施することを決定。区市町村社協への協力依頼を送付（第7～9クール分／派遣概要はこれまでと同様）
11月19日 ～23日	第5クール：日の出町社協・御蔵島社協・東社協から各1名を派遣。
11月26日 ～30日	第6クール：武蔵野市民社協・新島村社協・東社協から各1名を派遣。
12月3日 ～7日	第7クール：足立区社協・多摩市社協・日の出町社協から各1名を派遣。
12月5日	八丈町社協への社協職員の応援派遣を2月中旬までを目途として、継続実施することを決定し、区市町村社協への協力依頼を送付（第10～15クール分／派遣概要はこれまでと同様） 発災直後の対応から、島民による自主的な交流や支え合いへの移行を視野に、サロン活動等を軸とした被災者への寄り添い支援活動のサポートを行う。
12月10日 ～14日	第8クール：中央区社協・稲城市社協・東社協から各1名を派遣。
12月17日 ～21日	第9クール：千代田区社協・江東区社協・東社協から各1名を派遣。
12月25日 ～28日	通常の派遣クールとは別に、年末の対応にかかる派遣を実施。 御蔵島村社協・東社協から各1名を派遣。
R8年1月7日 ～11日	第10クール：台東区社協・東村山市社協・東社協から各1名を派遣。
1月14日 ～18日	第11クール：世田谷区社協・板橋区社協・東社協から各1名を派遣。
1月21日 ～25日	第12クール：新宿区社協・三鷹市社協・東社協から各1名を派遣。
1月28日 ～2月1日	第13クール：府中市社協・調布市社協・東社協から各1名を派遣。
2月4日 ～8日	第14クール：八王子市社協・多摩市社協・東社協から各1名を派遣。
2月11日 ～15日	第15クール：羽村市社協・西東京市社協・東社協から各1名を派遣。 本クールをもって、全15クール・延べ47名の職員派遣を終了。
2月28日	東京都およびTVACにおいて設置した「東京都災害ボランティアセンター」を閉鎖。

2 被災地域の福祉施設への支援～施設部会における取組み

10月9日～	島嶼部の会員施設（24施設）に「被害状況把握システム」への入力を依頼。 「第二八丈老人ホーム」から床上浸水や建物被害等についての報告を受ける。
10月14日	東京都高齢者施設協議会にて、被害の発生した「第二八丈老人ホーム」に応援派遣に関する意向を確認（現時点での応援派遣は見送りとなる）。


3 被災地域への福祉専門職の派遣～東京都災害福祉広域支援ネットワークにおける取り組み

10月22日	八丈町への現地調査班の派遣を決定（東京 DWAT チーム員1名・東京都および東社協職員各1名）。
10月24日 ～25日	現地調査班による現地調査を実施。
11月6日	<p>八丈町からの要請を受け、東京DWATの派遣を決定。登録員への派遣調整を開始。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 派遣期間：11月17日（月）～11月29日（土）の計4クール ● 派遣人数：1クール4～6名程度 ● 活動内容：訪問調査によるアセスメントの実施（ニーズ把握） 支援体制づくりの検討サポート など ● 活動拠点：八丈町福祉保健センター内
11月17日 ～20日	<p>第1クールを派遣（5名+事務局1名）。福祉部職員・CS-tokyo職員各1名が同行。11/17～19：サイボウズ社からの職員派遣によるIT関係の支援を受ける。</p> <p>【写真：夕礼の様子】 DWATの他、役場・保健所・社協も出席。</p> 
11月20日 ～23日	<p>第2クールを派遣（5名） 11/21：八丈支庁民生児童委員協議会の定例会にDWAT・事務局職員同席。</p>
11月23日 ～26日	第3クールを派遣（4名）
11月26日 ～29日	<p>第4クールを派遣（5名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 計13日間・延べ19名の派遣をもって活動を終了。 ● 全4クールでの訪問調査件数（訪問世帯数）は249件で、総訪問件数は延べ296件 ● 最終日には、八丈町や福祉関係者による「関係者ミーティング」にて、ケースの引継ぎや派遣に伴う振り返り等を実施。
R8年1月9日	<p>「台風22号・23号に伴う八丈町におけるDWAT活動報告会」を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 主催／東京都災害福祉広域支援ネットワーク ● 対象／東京DWATチーム員、東京都災害福祉広域支援ネットワーク参加団体（東社協施設部会、都内福祉系職能団体）関係者、都内行政職員等

4 被災地域の民生児童委員協議会への支援～東京都民生児童委員連合会における取組み

10月10日	八丈島民児協および八丈支庁民生児童委員担当者に被害状況について聞き取り。民生児童委員が被災された場合や民児協への支援策について情報提供を実施。
11月5日	東京都民生児童委員連合会 正副会長会及び常務委員会にて八丈支庁民生児童委員協議会に対する10万円の見舞金の贈呈を決定。11月7日の常任協議委員会（各区市郡支庁民児協代表会長の定例会議）にて贈呈。
11月21日 ～22日	八丈支庁民生児童委員協議会の定例会へ民生児童委員部職員1名を派遣。民生児童委員の被災状況および活動状況の把握の他、DWA Tとの連携支援に向け、要支援者の情報交換や同行等の協力依頼を実施。また、定例会終了後には、民生児童委員へのアンケートも実施。

5 義援金や被災者支援活動を支える支援金の募集

10月15日～	東京都災害ボランティアセンターでは、TVACとCS-Tokyoとの協働で、八丈島被災者支援のための都内一斉街頭募金活動について、区市町村社協をはじめとするボランティア・市民活動推進団体に実施を呼びかけ。 <実施実績> 29団体・32回	 <p>都内各地で台風22号・23号被害の街頭募金を実施しています。 台風22号・23号被害の「支援金」の街頭募金を実施します。 支援金は、被災地で支援活動を実施している団体等にお届けします。 この都内一斉街頭募金は、東京ボランティア・市民活動センター/CS-Tokyoの呼びかけに、都内の社会福祉協議会・ボランティアセンターや、NPO・NGO、生協、労働組合、様々なボランティア団体が連携・協働して実施している取組みです。 被災地の状況はQRコードをご覧ください。 【問い合わせ先】東京ボランティア・市民活動センター 災害担当 東京都新宿区神楽河岸1-1 飯田橋セントラルプラザ10階 03-3235-1171 tsb@tvac.or.jp</p>
10月27日 ～11月30日	東社協内および入居ビル内に八丈島被災者支援のための募金箱を設置。 <ul style="list-style-type: none"> ● 「令和7年台風第22号・23号義援金（送金先：東京都共同募金会）」 <ul style="list-style-type: none"> → 飯田橋セントラルプラザ1階、東社協第一事務室の2か所 → 12月9日付送金額：8,237円 ● 八丈島ささえあいセンター「あすなろ」の支援金（送金先：八丈町社協） <ul style="list-style-type: none"> → 上記2か所の他、TVAC窓口、東京DWAT登録研修会 → 12月9日付送金額：36,473円 	
11月30日～ 令和8年2月 21日	八丈島ささえあいセンター「あすなろ」の支援金募集のための募金箱の設置 <ul style="list-style-type: none"> → 飯田橋セントラルプラザ1階、東社協第一事務室、TVAC窓口の3か所 → 1月19日 および 2月27日付送金額：合計78,215円 	